

■社会福祉法人、23年度は増収増益 福祉医療機構

- ・福祉医療機構は11日、社会福祉法人の本業ベースでの収支が2023年度は7,433法人の平均で2.4%の黒字だったとする調査結果を公表した。黒字幅は前年度から0.7ポイント拡大した。サービス活動に伴う費用が前年度から増えたが収益の伸びが上回り、増収増益となった。
- ・社会福祉法人の収支が増収増益で着地したのは、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて報酬の特例措置が導入された20年度以来、3年ぶり。23年度に赤字だった法人の割合は30.5%で、4.8ポイント縮小した。
- ・福祉医療機構では、2年度分のデータがそろっている7,433法人分の収支を前年度と比較した。その結果、23年度には人件費率(67.1%)が0.2ポイント、経費率(24.5%)が0.4ポイント共に下がったのに対し、スタッフ1人当たりのサービス活動収益(648.4万円)は18.8万円上昇した。
- ・本業のサービス活動でどれだけ利益を上げているかを示す「サービス活動増減差額比率」(利益率)は1法人当たりプラス2.4%で、前年度から0.7ポイント上昇した。また、本業以外を含む経常収支ベースでの利益率は0.8ポイント拡大し、プラス2.7%だった。
- ・法人の業態別に本業の収支を見ると、23年度は「介護主体」(2,886法人)が1.7%、「障害主体」(1,223法人)が2.1%のいずれも黒字だった。介護主体では1.0ポイント、障害主体では0.4ポイント黒字幅が拡大した。また、赤字法人の割合は介護主体では6.7ポイント下がり40.0%、障害主体は3.7ポイント下がり31.7%だった。

※詳細は下記資料をご参照ください。

○※詳細はコチラの資料をご参照ください。

福祉医療機構 SC Research Report

2023年度 社会福祉法人の経営状況について

<https://www.wam.go.jp/hp/keiei-report-r6/>